

科目名	病理学 (Pathology)			科目コード	407
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	臨①②
担当教員	則松 良明				
授業概要	病理学総論 (病因論、遺伝病、奇形、物質代謝異常、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍) および各論 (循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿・生殖器系、乳腺、造血器系) について最新のデータに基づいて講義をする。授業はできる限り生検材料、手術材料、剖検材料などの実物の肉眼スライド、ヘマトキシリン・エオジン染色標本スライド、診断のために有用な各種の特殊染色スライドを使用して、視覚に訴えていく予定である。				
授業目標	病理学は疾病と臓器の形態学的変化を肉眼的、組織学的に検索し、疾病の本態を究明する分野である。疾病が発生したときの生体構築の基礎となる細胞、組織、器官の形態学的変化を経時的に観察し、疾病の機能的変化を推察する。病理学は臨床医学の基礎となる科目であるので、疾病時における身体内部の臓器、組織、細胞の形態学的変化を中心にして、疾病の成因と病態について理解する。				

授業計画

回	項目	内容
1	病因論 奇形と遺伝	疾患の原因として病原微生物、化学的因子、物理学的因子、栄養素 奇形の種類、常染色体異常、性染色体異常、伴性遺伝病、常染色体優性 遺伝病、常染色体劣性遺伝病
2	組織細胞傷害と その修復機構	退行性病変 (萎縮、変性、壊死) 進行性病変 (肥大、増生、再生、化生)
3	物質代謝異常	糖質、脂質、蛋白質・アミノ酸、生体色素、無機物における代謝異常
4	循環障害	虚血、充血、うっ血、出血等の血液分布異常、血栓症、塞栓症、梗塞
5	炎症	炎症総論、炎症性細胞、炎症の分類
6	免疫異常	免疫学の機構、免疫反応とアレルギーの型、免疫不全、自己免疫疾患
7	腫瘍	腫瘍総論、良性腫瘍、悪性腫瘍の分類学、悪性腫瘍の原因
8	各論：循環器系	虚血性心疾患 (狭心症と心筋梗塞)、脳梗塞、肺梗塞、動脈硬化
9	各論：呼吸器系	肺炎、肺線維症、肺気腫、無気肺、肺の腫瘍
10	各論：消化器系 I	食道静脈瘤、食道癌、胃の炎症、胃潰瘍、胃の異型上皮、胃癌、腸の炎 症性疾患 (クローン病、潰瘍性大腸炎)、大腸癌
11	各論：消化器系 II	肝の循環障害、肝炎ウイルスの種類と急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変症、 肝細胞癌
12	各論：内分泌系	下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓ランゲルハンス島における機能 亢進・低下症、腫瘍
13	各論：泌尿・生殖器系	腎糸球体病変、腎腫瘍、尿路上皮の腫瘍、子宮癌、卵巣癌
14	各論：乳腺および造血臓器系	乳腺症、乳腺の良性腫瘍、乳癌、白血病、リンパ節の非腫瘍性疾患、悪 性リンパ腫
15	染色法とその診断	診断に有用な特殊染色を用いた種々の疾患の説明
成績評価方法	受講態度(10%)と筆記試験(90%)で評価する。	
教科書	松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章他「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」(医歯薬出版) 水口國男・石川喜美男・三瓶接子「カラー版 組織アトラスー正常と病変ー」 (医歯薬出版)	
参考図書等	水口國男・伊藤機一・設楽政次「最新 染色法のすべて」(医歯薬出版)	
授業時間外の 学習について		
関連科目	141, 142, 143 人体の構造・機能 I・II・III	
備考	実 則松：臨床検査技師 (医療機関)	